

リスクアセスメント演習

リスクを評価して対策を考えよう

どんな危険性又は有害性がありますか？



《状況》ベルトコンベヤーの駆動部に、異物(木片)が詰まって停止したので、カバーを開けて異物を取り除こうとしている。

- リスクアセスメントは、職場に存在する「危険性または有害性」(リスク)を把握して、その「程度」(リスクレベル)を明らかにし、この程度に応じて、リスクを除去・低減するために「必要な事項」(対策等)を決定するための手段です。
- リスク低減措置の実施(安衛法第28条2)に基づく指針)
- 法令に定められた事項がある場合は必ず実施するとともに、次の優先順位で低減措置等の対策を実施します。
- (1) 危険な作業の廃止・変更。有害性の低い材料等への代替
 - (2) 工学的対策(インターロック、局所排気装置の設置等)
 - (3) 管理的対策(マニュアルの整備、教育・訓練等)
 - (4) 個人用保護具の使用

《リスク評価表の例》リスクの評価の方法は各種ありますが、下記の《例》を参考に実施して下さい。

No.	危険性又は有害性の特定	① 重大性	② 可能性	③ ポイント	④ リスクレベル	改善対策	対策後のリスク評価(予測)			
							① 重大性	② 可能性	③ ポイント	④ リスクレベル
1	コンベヤーの運転を停止しないで異物を取り除いたので、ベルトが駆動して手指を挟まれ、重篤な災害になる。	6	4	10	IV	①トラブル等でコンベヤーが停止した際に点検や調整を行うときは、コンベヤーの運転を停止して行う。また、駆動部のカバーを開けると電源が切れる構造にする。	1	1	2	I
						②コンベヤーに異常が発生した際は機械を停止させ、「止める、呼ぶ、待つ」を徹底する。	3	2	5	II
						③コンベヤーにトラブルが発生した際のマニュアルを作成し、関係者に周知する。	6	2	8	III

《リスク評価基準の例》

①災害の重大性

重大性	点数
致命傷	10
重傷	6
軽傷	3
微傷	1

②災害の可能性

可能性	点数
確実である	6
可能性が高い	4
可能性がある	2
ほとんどない	1

③リスクポイント	④リスクレベル	判定と改善対策等
10~16	IV	重大な問題があり、直ちに対策が必要
7~9	III	大きな問題があり、対策が必要
4~6	II	問題があり、見直し改善が必要
2~3	I	許容可能、残留リスクの措置を行う

合計評価値 = ①重大性 + ②可能性